

〔科目名〕 管理会計論Ⅱ	〔単位数〕 2単位	〔科目区分〕 専門科目 基幹科目(経営) 展開科目(経済)																					
〔担当者〕 王 聖書	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業内で案内する 場所: 506 研究室	〔授業の方法〕 講義、演習																					
〔科目の概要〕 <p>管理会計は、企業の経営戦略の立案および業務計画と統制に必要な意思決定を支援するための重要な情報を提供する「情報システム」としての役割を果たしています。同時に、管理会計は情報の作成と伝達のプロセスを通じて、組織の目標達成に向けて経営管理者や一般従業員を動機づける「影響システム」としても機能します。管理会計は、単なる数字の追跡を超え、組織全体のパフォーマンス向上と目標達成のための戦略的なツールとして重要な役割を担っています。</p> <p>秋学期には、コストマネジメントと業績管理を学ぶうえ管理会計の最新のトピックの基本的事項を理解します。本講義を通じて、管理会計情報が企業のコストマネジメントと業績管理にかかる様々な管理会計技法を習得することを目的とします。具体的には、標準原価計算、ABC、原価企画、品質コスト、アメーバ経営、バランススコアカードなどコストマネジメントと業績管理の概要、理論、手法について、講義、練習問題やケースディスカッションを交えながら、管理会計に対する理解を深めるようにします。これにより、管理会計の概要と具体的な技法を学習し、組織内でのコストマネジメントや業績管理において管理会計情報を効果的に活用する能力を身につけることができるようになります。</p>																							
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 「工業簿記」「管理会計論Ⅰ」の事前履修が望ましい。 (すでに会計学の基礎を学習済みであれば問題ありません)																							
〔科目の到達目標〕 該授業を通じて、管理会計の理論と具体的手法を理解し、組織内でのコストマネジメントと業績管理において管理会計情報を効果的に活用する能力を身につけていただくことを本授業のゴールとして設定しています。また、ESG 経営時代に企業価値を高めるため、管理会計が果たすべき役割を理解することを目指します。																							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕																							
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○	○		○	○		○
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
○	○		○	○		○																	
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 該当なし																							
〔教科書〕 清水孝・庵谷治男(2019)『基礎管理会計』中央経済社																							
〔指定図書〕 小林啓孝・伊藤嘉博・清水孝・長谷川恵一(2017)『スタンダード管理会計-第2版-』東洋経済新報社。																							
〔参考書〕 櫻井通晴(2019)『管理会計〔第七版〕』同文館 梶原武久(2022)『戦略的コストマネジメント』中央経済社																							
〔前提科目〕 「工業簿記」「管理会計論Ⅰ」の事前履修が望ましい。 (すでに会計学の基礎を学習済みであれば問題ありません)																							

<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等)</p> <p>① 中間テスト 30%</p> <p>② 期末テスト 70%</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕</p> <p>管理会計で学ぶ内容は多岐にわたるため、予習・復習を欠かさずに行う必要があります。講義内で示す資料や参考文献について、積極的に学習することが望ましい。</p> <p>数字を正しく計算するだけでなく、講義で紹介する資料やケースをもとに、計算の背後にあるビジネスプロセスの理解を目指していただきたい。</p>	
<p>〔実務経歴〕</p> <p>該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか): ガイダンス・コストマネジメント①(標準原価管理)</p> <p>内 容: 標準原価管理とは、予め設定した原価標準と実際のコストを比較・分析する手法です。原価標準の設定方法, 実際コストの測定, 標準原価との差異分析に焦点を当て, 標準原価管理を解説します。</p> <p>教科書第9, 10章・指定図書第11章</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか): コストマネジメント②(活動基準原価計算と活動基準管理)</p> <p>内 容: 製造間接費の配賦に関する技法である活動基準原価計算と活動間の価値連鎖の管理に注目する活動基準管理について説明します。</p> <p>教科書第8章・指定図書第9章</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか): コストマネジメント③(原価改善)</p> <p>内 容: 原価を継続的に低減しようとする仕組みである原価改善について説明します。主に JIT 生産方式と TQM について解説します。</p> <p>教科書9章・指定図書第10章</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか): コストマネジメント④(原価企画)</p> <p>内 容: 製品の設計段階からコスト作り込み, 目標原価の実現に向けた組織的活動としての性格を持つ原価企画について説明します。</p> <p>教科書9章・指定図書第11章</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか): コストマネジメント⑤(原価企画の限界と逆機能)</p> <p>内 容: サプライヤーの疲弊, 設計担当者エンジニアの疲弊, 行き過ぎた顧客志向の弊害など原価企画の限界と逆機能について解説します。</p> <p>教科書9章・指定図書第11章</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか): コストマネジメント⑥(品質コストマネジメント)</p> <p>内 容: 製品やサービスの品質を向上させるためのコストとその効果を分析する手法である品質コストマネジメントについて説明します。予防コスト, 評価コスト, 内部失敗コスト, 外部失敗コストと, それらの活用方法について解説します。</p> <p>指定図書12章・配布プリント</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか): 前半の復習と中間テスト</p> <p>内 容: 1回から6回までの重要論点を復習し, 授業時間内に中間テストを行います。</p> <p>教科書・指定図書: 配布プリント</p>

第 8 回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計①(事業部制会計と業績評価)</p> <p>内 容:事業部制組織とカンパニー制組織の特徴を説明し、直接原価計算の重要性について解説します。</p> <p>教科書第 10 章・指定図書第 13 章</p>
第 9 回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計②(振替価格と事業部資本)</p> <p>内 容:代表的な振替価格の設定基準である市価基準と原価基準を説明する。また、事業部の業績を適切に評価するための手法である社内金利制度と社内基本金制度について解説します。</p> <p>教科書 11 章・指定図書 13 章</p>
第 10 回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計③(戦略マップ, バランストスコアカード)</p> <p>内 容:戦略マップとバランストスコアカードの関係性について解説し、バランストスコアカードの4つの視点間の因果連鎖のマネジメント方法について検討します。</p> <p>指定図書第 2 章・配布プリント</p>
第 11 回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計④(バランストスコアカード, 非財務尺度)</p> <p>内 容:バランストスコアカードは、財務指標だけでなく、非財務尺度も統合しながら組織の全体的なパフォーマンスをマネジメントします。本講義では、顧客満足度や従業員のスキル向上などの非財務指標の設定と評価について解説します。</p> <p>指定図書第 2 章・配布プリント</p>
第 12 回	<p>テーマ(何を学ぶか):業績管理会計⑤(ミニ・プロフィット・センターとアメーバ経営)</p> <p>内 容:ミニ・プロフィット・センター制の意義と、その具体的手法であるアメーバ経営について解説します。本講義では、時間あたり採算、社内売買、およびフィロソフィーの重要性について検討します。</p> <p>教科書第 12 章・指定図書第 13 章</p>
第 13 回	<p>テーマ(何を学ぶか):サステナビリティ管理会計</p> <p>内 容:本講義では、マテリアルフローコスト会計と脱炭素に焦点を当てた管理会計を中心に解説します。サステナビリティマネジメントに対する管理会計の貢献について検討します。</p> <p>指定図書第 12 章・配布プリント</p>
第 14 回	<p>テーマ(何を学ぶか):AI の管理会計への適用</p> <p>内 容:管理会計に AI が適用できる領域、いまだ適用には至っていないが適用可能性が高い領域、および近い将来に適用が見込まれる領域における課題を検討します。</p> <p>配布プリント</p>
第 15 回	<p>テーマ(何を学ぶか):期末まとめ</p> <p>内 容:1 回から 14 回までの重要論点を復習し、練習問題の解説を行います。</p> <p>教科書・指定図書:配布プリント</p>
試験	<p>筆記試験を行います。試験は筆記具・電卓以外持込不可。</p>